



平成 29 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 安川情報システム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 諸星 俊男  
(コード番号 2354 東証第 2 部)  
問合せ先 管理本部経理部長 原 英明  
(TEL. 093 - 622 - 6111)

### 通期連結決算業績予想値と実績値並びに個別業績の前期実績値との差異及び 配当予想の修正（復配）に関するお知らせ

平成 29 年 1 月 19 日付「平成 29 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した平成 29 年 3 月期（平成 28 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 20 日）の連結業績値と本日発表の実績値、並びに個別業績の前期実績値と本日発表の実績値との間に下記のとおり大幅な差異が生じたのでお知らせいたします。

また、当期の業績を踏まえ、平成 28 年 4 月 15 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期配当予想を下記の通り修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 28 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 20 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 13,400	百万円 600	百万円 600	百万円 450	円 銭 25.00
実 績 値 (B)	13,421	878	876	711	39.51
差 額 (B - A)	21	278	276	261	—
差 額 率 (%)	0.2%	46.4	46.1	58.0	—
(ご参考) 前期連結実績(平成 28 年 3 月期)	12,275	△540	△533	△1,271	△70.62

#### 2. 平成 29 年 3 月期個別業績（通期）と前期実績との差異（平成 28 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 20 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期(平成 28 年 3 月期) (A)	百万円 9,737	百万円 △671	百万円 △626	百万円 △1,308	円 銭 △72.70
当期(平成 29 年 3 月期) (B)	12,578	807	891	755	42.00
増 減 額 (B - A)	2,841	1,478	1,517	2,064	—
増 減 率 (%)	29.2	—	—	—	—

### 3. 差異の理由

売上高はほぼ予想どおりに推移しましたが、高採算案件の増加やコストダウン方策の実施等の効果により、営業利益、経常利益が予想を大きく上回る結果となりました。また、利益増により税務上の繰越欠損金の解消時期が早期化したことに伴い、当該繰越欠損金にかかる繰延税金資産を計上したこと等により親会社株主に帰属する当期純利益も予想を上回る結果となりました。

なお、上記の理由により、個別業績についても、前期実績との大幅な差異が発生したことから、あわせて開示をいたします。

### 4. 配当予想の修正（復配）

#### （1）修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成28年4月15日)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
今回修正予想	—	—	—	5.00	5.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
前期実績 (平成28年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

#### （2）修正の理由

当社グループは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識し、将来にわたり企業競争力を維持・向上させ、企業価値の最大化を目指すことにより株主の皆さまへの利益還元を図りたいと考えています。

このような観点から、利益配分につきましては、今後の事業拡大に向けた内部資金の確保と株主各位への長期にわたる安定的な配当を念頭に、財政状況、利益水準、配当性向等を総合的に勘案して実施することを基本方針としています。

上記方針と当期の通期業績結果に基づき、無配としておりました平成29年3月期の期末配当を1株当たり5円に修正することにいたしました。

以 上